

保護樹木

※樹高・幹周・樹齢は指定時の数値です。

指定第2号 ムクノキ（ニレ科） 昭和町

5月ごろ淡緑色の小花を開き、秋には紫黒色の果実をつける。葉の表面がざらついているので、細工物を磨くのに使われ、材は皮付きのまま床柱などにも使う。中野町には昔、東のムクノキと西のムクノキの2本の巨木があったといわれているが、今では県下有数の古木であるこの「西のムクノキ」だけが残っている。

樹高:21m 幹周:644cm 推定樹齢:650年 指定:昭和53年

